

学域名	人間社会学域
学類名	国際学類
コース名	ヨーロッパコース

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)		コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)		
<p>グローバル化が進んだ21世紀に、国際社会への洞察力を持ち、異文化とのしなやかな共生を実現できる真の国際人を育成することを目的とし、外国・異文化への関心と探求心、コミュニケーション能力を高め、将来国際的業務で活躍できる人材を育てる。各コースのディプロマ・ポリシーで掲げた人材養成目標への到達を通じて、この学類の人材養成目標に到達した者に学士(国際学)の学位を授与する。</p>		<p>(ヨーロッパとその周辺地域)に対する言語コミュニケーション能力に裏打ちされた実証的知識を基礎に、現代ヨーロッパ社会の目指している、価値の多様性を踏まえた文化的寛容の精神を体得した真の国際人を育成する。こうした人材養成目標に到達した者に学士(国際学)の学位を授与する。この人材養成目標に到達するためには、以下の学習成果を上げることが求められる。</p>		
学類およびコースのOP(カリキュラム構成方針)		コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)		
<p>【学類のOP】 必修科目(「国際学入門」、「日本文化」、「卒業論文」)、専門基礎選択必修科目(国語・社会系10単位、日本文化系8単位、英語系12単位)、専門選択必修科目(24単位必修)、選択科目(「インターンシップ」、「異文化体験実習」を含む22単位)など、多彩な科目群を設定し、グローバル化に対応できるコミュニケーション能力を備えた人材の育成のために、少人数でおこなう演習を中心とした、課題探求型の自己学習を指導する。</p> <p>【コースのOP】 現代ヨーロッパ社会論、ヨーロッパ生活論、また各教員の担当する特論・演習への参加を通じて、地中海地域を含むヨーロッパ圏の文化・歴史・政治・経済・社会を、一段と深い戦略的視点から考察する意識を育てることを目指している。またそうした知識を踏まえ将来この地域を担当する実務家として活躍する基礎的技能として、ドイツ語・フランス語・スペイン語等のコミュニケーション科目により、言語の実践的運用能力を高められるよう配慮している。</p>		<p>現代ヨーロッパの政治・経済・文化について、将来この分野の専門職業人として活動するに相応しい、基礎的知識を習得している。</p> <p>現代に生きる創造力ある世界であると、歴史と伝統の深い根を有する世界であるヨーロッパ文化を学ぶ者として、これまでのヨーロッパ文化が産み出した思想・文学、芸術等の歴史的諸価値にそれを理解する豊かな感受性を備えている。</p> <p>自身のキャリアパスと本コースで学ぶ専門知識を接続させ、自身の進路をプロデュースできる職業設計能力を育てている。</p> <p>ヨーロッパのみならずその周辺諸地域(中央アジア圏、中近東アジア圏、中南米地域)の社会・文化の理解のもと、複眼的に世界を見る目を有している。</p> <p>他者へ及び多文化への旺盛な関心のもと、グローバルな視点から客観的に観察できる態度と能力を養成している。</p> <p>日本の文化・社会・歴史や日本語についてグローバルな視点から客観的に観察できる態度と能力を養成している。</p>		
コース(専攻)のカリキュラム				
科目番号	授業科目名	学年	前期	後期
16001	国際学入門	1	*	◎
16002	国際政治史A	2	*	△
16003	国際政治史B	2	*	◎
16004	国際関係論	2	*	○
16004	国際関係論	2	*	○
16005	国際コミュニケーション論	2	*	*
16006	国際経済学	2	*	*
16007	世界システム論	2	*	◎
16008	国際貿易論	2	*	○
16008	国際貿易論	2	*	○
16009	国際協力論	2	*	*
16010	異文化理解	2	*	*
16037	国際経済学概論	2	*	○
16011	日本文化	1	*	*
16012	日本の歴史と宗教	2	*	*
16013	日本史概観	2	*	◎
16014	日本経済論	2	*	*
16015	日本の伝統芸能	2	*	*
16016	日本政治・外交史	2	*	△
16017	日本政治・外交論	2	*	△
16018	日本の言語と文化	2	*	*
16019	日本民俗文化論	2	*	*
16020	日本語学概論	2	*	*
16021	日本語教育学基礎	2	*	*
16022	日本の文学	2	*	*
16023	日本の古典文学	2	*	*
16024	日本の近現代文学	2	*	*
16038	日本文化体験A	2	*	*
16039	日本文化体験B	2	*	*
16025	翻訳理論Ⅰ	2	*	△
16026	翻訳理論Ⅱ	2	*	△
16027	英語パブリックスピーキングⅠA	1~2	*	○
16028	英語パブリックスピーキングⅠB	1~2	*	○
16029	英語パブリックスピーキングⅡA	1~2	*	○
16030	英語パブリックスピーキングⅡB	1~2	*	○
16031	英語表現法ⅠA	1~2	*	△
16031	英語表現法ⅠA	1~2	*	△
16032	英語表現法ⅠB	1~2	*	△
16033	英語表現法ⅡA	1~2	*	△

学域名	人間社会学域
学類名	国際学類
コース名	ヨーロッパコース

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)
グローバル化が進んだ21世紀に、国際社会への洞察力を持ち、異文化とのしなやかな共生を実現できる真の国際人を育成することを目的とし、外国・異文化への関心と探求心、コミュニケーション能力を身に付け、将来国際的業務で活躍できる人材を育てる。各コースのディプロマ・ポリシーで掲げた人材養成目標への到達を通じて、この学類の人材養成目標に到達した者に学士(国際学)の学位を授与する。	(ヨーロッパとその周辺地域)に対する言語コミュニケーション能力に裏打ちされた実証的知識を基礎に、現代ヨーロッパ社会の目指している、価値の多様性を踏まえた文化的寛容の精神を体得した真の国際人を育成する。こうした人材養成目標に到達した者に学士(国際学)の学位を授与する。この人材養成目標に到達するためには、以下の学習成果を上げることが求められる。

学類およびコースのOP(カリキュラム構成方針)	コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)
-------------------------	--

【学類のOP】 必修科目(「国際学入門」、「日本文化」、「卒業論文」、専門基礎選択必修科目(国語・社会系10単位、日本文化系8単位、英語系12単位)、専門選択必修科目(24単位必修)、選択科目(「インターンシップ」、「異文化体験実習」を含む22単位)など、多彩な科目群を設定し、グローバル化に対応できるコミュニケーション能力を備えた人材の育成のために、少人数でこの演習を中心とした、課題探求型の自己学習を指導する。	現代ヨーロッパの政治・経済・文化について、将来この分野の専門職人として活動するに相応しい、基礎的知識を習得している。	現代に生きる創造力ある世界であると共に、歴史と伝統の深い根を有する世界であるヨーロッパ文化を学ぶ者として、これからのヨーロッパ文化が産み出した思想、文学、芸術等の歴史的諸価値に對しそれを理解する豊かな感受性を備えている。	それぞれの関心に従って仏・独・西語につき各言語の代表検定試験(実用フランス語検定技能試験、ドイツ語技能検定、スペイン語技能検定)2級程度、即ち国際的な場で働く意欲のある学生に要求されるコミュニケーション力獲得までスムーズに到達できる基礎的語学力を修得している。	ヨーロッパのみならずその周辺諸地域(中央アジア圏、中近東アジア圏、中南米地域)の社会・文化の理解のもと、複眼的に世界を見る目を有している。	他者へ及び多文化への旺盛な関心のもと単に日本に固執するのではなく、生活及び労働の場を広く世界に求めることのできる、国際感覚と人間関係構築力を身に付けている。	日本の文化・社会・歴史や日本語についてグローバルな視点から客観的に観察できる態度と能力を獲得している。
--	--	--	--	---	--	---

コース(専攻)のカリキュラム		履修科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期	◎	○	△
----------------	--	-------	---------	----	----	----	---	---	---

51431	フランス語演習(読む・書く)A	現代フランス事情に通じる。自然なフランス語によるコミュニケーション能力のファーストステップを身につける。現場で役にたつ形で文法をおさらいし発展させる。将来国際的場におけるフランス語コミュニケーション能力を身につけるために必要な語学知識と一般知識の基礎を学ぶ。フランス語話者の書いて(言っている)ことの意味が実感をもって分かる。こちらからフランス語話者へ効果的に気持ちを、意思を通じさせられるような書き方(話し方)を身につける。フランス語と英語を関連付け相乗効果で両言語の能力をアップさせる。		2	H22		◎		△
51432	フランス語演習(読む・書く)B	現代フランス事情に通じる。自然なフランス語によるコミュニケーション能力のファーストステップを身につける。現場で役にたつ形で文法をおさらいし発展させる。将来国際的場におけるフランス語コミュニケーション能力を身につけるために必要な語学知識と一般知識の基礎を学ぶ。フランス語話者の書いて(言っている)ことの意味が実感をもって分かる。こちらからフランス語話者へ効果的に気持ちを、意思を通じさせられるような書き方(話し方)を身につける。フランス語と英語を関連付け相乗効果で両言語の能力をアップさせる。		2	H22		◎		△
51433	フランス語演習(聞く・話す)A	日常生活におけるコミュニケーション能力を向上させる。 ・簡単な文章を聞いて話ししたりするための表現力を伸ばす。 ・フランス語圏の文化に触れながら異文化問題について考える。		2	H22		○	○	○
51434	フランス語演習(聞く・話す)B	日常生活におけるコミュニケーション能力を向上させる。 ・簡単な文章を聞いて話ししたりするための表現力を伸ばす。 ・フランス語圏の文化に触れながら異文化問題について考える。		2	H22		○	○	○
51435	フランス語演習(口頭表現法)A	日常生活に関するテーマで、フランス語で会話できる能力を見につける。自国の文化と異文化を比較し考える能力を見につける。		3~4	H22		○	○	○
51436	フランス語演習(口頭表現法)B	日常生活に関するテーマで、フランス語で会話できる能力を見につける。自国の文化と異文化を比較し考える能力を見につける。		3~4	H22		○	○	○
51437	フランス語演習(総合)A	現代フランス事情を知る。自然なフランス語によるコミュニケーション能力の基本を身につける。現場で役にたつ形で文法をおさらいし発展させる。中級以上で国際的場におけるフランス語コミュニケーション能力を身につけるために必要な語学知識と一般知識の基礎を学ぶ。アラブ、アフリカ地域についてフランス語情報から見識を深める。フランス語話者の書いて(言っている)ことの意味が実感をもって分かる。こちらからフランス語話者へ効果的に気持ちを、意思を通じさせられるような書き方(話し方)を身につける。フランス語と英語を関連付けて学習し両言語の能力をアップさせる。 ○自然なフランス語によるコミュニケーション能力の基本を身につける。 ○現場で役にたつ形で文法をおさらいし発展させる。 ○中級以上で国際的場におけるフランス語コミュニケーション能力を身につけるために必要な語学知識と一般知識の基礎を学ぶ。 ○アラブ、アフリカ地域についてフランス語情報から見識を深める。 ○フランス語話者の書いて(言っている)ことの意味が実感をもって分かる。 ○こちらからフランス語話者へ効果的に気持ちを、意思を通じさせられるような書き方(話し方)を身につける。 ○フランス語と英語を関連付けて学習し両言語の能力をアップさせる。		3~4	H22		◎	○	
51438	フランス語演習(総合)B	現代フランス事情を知る。自然なフランス語によるコミュニケーション能力の基本を身につける。現場で役にたつ形で文法をおさらいし発展させる。中級以上で国際的場におけるフランス語コミュニケーション能力を身につけるために必要な語学知識と一般知識の基礎を学ぶ。アラブ、アフリカ地域についてフランス語情報から見識を深める。フランス語話者の書いて(言っている)ことの意味が実感をもって分かる。こちらからフランス語話者へ効果的に気持ちを、意思を通じさせられるような書き方(話し方)を身につける。フランス語と英語を関連付けて学習し両言語の能力をアップさせる。		3~4	H22		◎	○	△
51439	スペイン語コミュニケーションⅠA	スペイン語の基礎的なコミュニケーション力を習得する。		2	H22		◎	○	△
51440	スペイン語コミュニケーションⅠB	スペイン語の基礎的なコミュニケーション力を習得する。		2	H22		◎	○	△
51441	スペイン語コミュニケーションⅡA	スペイン語の基礎的なコミュニケーション力を習得する。		2	H22		◎	○	△
51442	スペイン語コミュニケーションⅡB	スペイン語の基礎的なコミュニケーション力を習得する。		2	H22		◎	○	△
51450	スペイン語コミュニケーションⅢA	スペイン語の基礎的なコミュニケーション力を習得する。		3~4			◎	○	△
51451	スペイン語コミュニケーションⅢB	スペイン語の基礎的なコミュニケーション力を習得する。		3~4			◎	○	△
51452	スペイン語コミュニケーションⅣA	スペイン語の基礎的なコミュニケーション力を習得する。		3~4			◎	○	△
51453	スペイン語コミュニケーションⅣB	スペイン語の基礎的なコミュニケーション力を習得する。		3~4			◎	○	△
51443	ヨーロッパ研究演習A	卒論執筆上の基本の技能、即ち関連文献検索、情報の整理、文章の論理的構成、注の作成等ができる。		3	H22	H22	○	○	
51443	ヨーロッパ研究演習A	興味あるテーマをみつける。論文、つまりほかの人の批判に耐える形の文章の書き方を習得する。		3	H22	H22	◎	△	○
51444	ヨーロッパ研究演習B	教員とのディスカッションを通じて、習得した知識を前提に独自の研究課題を発見させる。		4			○	○	
51444	ヨーロッパ研究演習B	興味あるテーマをみつける。論文、つまりほかの人の批判に耐える形の文章の書き方を習得する。		4			◎	△	○
38001	インターンシップ	・民間企業や官庁・自治体、NGO・NPO等での業務内容を理解できる。 ・民間企業や官庁・自治体、NGO・NPO等での国際的な業務についても理解できる。 ・自らに適合した将来の進路を選択する能力を向上させる		3	H22		○	○	◎
38002	卒業論文	習得した知識を踏まえ自己の専攻分野につき、問題発見/情報収集/情報分析/問題解決というモジュールによって思考史、それを文章表現する技能身につける		4			○	○	◎
別に定める	異文化体験実習Ⅰ(海外)	海外等での語学研修やボランティア活動等に参加して、コミュニケーション力を習得し、さまざまな文化に親しむ。		2~4	H22	H22	△	◎	○
38151	異文化体験実習Ⅰ(ドイツ)	ドイツでのサマースクールに参加してドイツ語のコミュニケーション力をつけることとドイツの文化や生活に親しむ。		2~4	H22	H22	△	◎	○
38152	異文化体験実習Ⅰ(フランス)	フランスの大学での語学研修に参加し、フランス語の運用能力を高める。フランスでの生活体験や課題の達成を通して、フランスの文化に親しむ。		2~4	H22		○	○	△
38153	異文化体験実習Ⅰ(中国)	中国社会・文化への理解の促進と中国語能力の向上		2~4	H22		○	○	○
38154	異文化体験実習Ⅰ(中国)	中国社会・文化への理解の促進と中国語能力の向上		2~4	H22		○	○	○

学域名	人間社会学域
学類名	国際学類
コース名	ヨーロッパコース

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)
グローバル化が進んだ21世紀に、国際社会への洞察力を持ち、異文化とのしなやかな共生を実現できる真の国際人を育成することを目的とし、外国・異文化への関心と探求心、コミュニケーション能力を持ち、将来国際的業務で活躍できる人材を育てる。各コースのディプロマ・ポリシーで掲げた人材養成目標への到達を通して、この学類の人材養成目標に到達した者に学士(国際学)の学位を授与する。	「ヨーロッパとその周辺地域」に対する言語コミュニケーション能力に裏打ちされた実践的知識を基礎に、現代ヨーロッパ社会の目指している、価値の多様性を踏まえた文化的寛容の精神を体得した真の国際人を育成する。こうした人材養成目標に到達した者に学士(国際学)の学位を授与する。この人材養成目標に到達するためには、以下の学習成果を上げることが求められる。

学類およびコースのOP(カリキュラム構成方針)	コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)
-------------------------	--

<p>【学類のOP】 必修科目(「国際学入門」、「日本文化」、「卒業論文」)、専門基礎選択必修科目(国語・社会系10単位、日本文化系8単位、英語系12単位)、専門選択必修科目(24単位必修)、選択科目(「インターンシップ」、「異文化体験実習」を含む22単位)など、多彩な科目群を設定し、グローバル化に対応できるコミュニケーション能力を備えた人材の育成のために、少人数でおこなう演習を中心とした、課題探求型の自己学習を指導する。</p> <p>【コースのOP】 現代ヨーロッパ社会論、ヨーロッパ生活論、また各教員の担当する特論・演習への参加を通して、地中海地域を含むヨーロッパ圏の文化・歴史・政治・経済・社会を、一段と深い戦略的視点から考察する意識を育てることを目指している。またそうした知識を踏まえ将来この地域を担当する実務家として活躍する基礎的スキルとして、ドイツ語・フランス語・スペイン語等のコミュニケーション科目により、言語の実践的運用能力を高められるよう配慮している。</p>	<p>現代ヨーロッパの政治・経済・文化について、特長この分野の専門職業人として活動するに相応しい、基礎的知識を習得している。</p> <p>現代に生きる創造力ある世界であると、歴史と伝統の深い根を有する世界であるヨーロッパ文化を学ぶ者として、これまでのヨーロッパ文化が産み出してきた思想、文学、芸術等の歴史的諸価値に対しそれを理解する豊かな感受性を備えている。</p> <p>それぞれの関心に従って仏・独・西語につき各言語の代表的検定試験(英用フランス語検定技能試験、ドイツ語技能検定、スペイン語技能検定)2級程度、即ち国際的な場で働く意欲のある学生に要求されるコミュニケーション力獲得までスムーズに到達できる基礎的語学力を修得している。</p> <p>自身のキャリアパスと本コースで学ぶ専門知識を接続させ、自身の進路をプロデュースできる職業設計能力を育てている。</p> <p>ヨーロッパのみならずその周辺諸地域(中央アジア圏、中近東アジア圏、中南米地域)の社会・文化の理解にも世界を見る目を有している。</p> <p>他者へ及び多文化への旺盛な関心のもと単に日本に固執するのではなく、生活及び労働の場を広く世界に求めることのできる、国際感覚と人間関係構築力を身につけている。</p> <p>日本の文化・社会・歴史や日本語についてグローバルな視点から客観的に観察できる態度と能力を獲得している。</p>
--	--

コース(専攻)のカリキュラム

科目番号	授業科目名	学生の学習	学年	前期	後期							
38155	異文化体験実習 I (イギリス)	たんなる語学研修に終わらない、イギリスに関する幅広い知識が習得でき、また、イギリスの人や風土とじかに接することができる。	1~4								◎	○
38201	異文化体験実習 II (海外)	異文化体験実習 I で学んだ語学の習得	2~4	H22				◎	○		△	
38202	異文化体験実習 II (ドイツ)	異文化体験実習 I で学んだドイツ語の習得	2~4	H22				◎	○		△	
38203	異文化体験実習 II (フランス)	フランスの大学での語学研修に参加し、フランス語の運用能力を高める。フランス語検定試験で適切な級の認定を受ける。	2~4	H22		○	○	○		○	△	
38204	異文化体験実習 II (中国)	中国語検定試験2級合格を目指す。	2~4	H22					○		○	
38205	異文化体験実習 II (イギリス)	ケンブリッジ語学研修を通して、さらなる英語の力を身に付けるとともに、イギリスの諸文化、歴史にじかに触れることで、英国の歴史の厚さを理解する。	1~4			◎	○				○	○